教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
22	学長	タケムラ カズオ 竹村 一夫 <令和4年4月>		文学修士※		大阪樟蔭女子大学 学長 (令和4.4~令和8.3)

教員の氏名等

学芸学部リベラルアーツ学科																		
調査 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	主要授 業科目	配 年	担 当 単 位 数	年 開 講 回 数	現 職 (就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務 に従事する 週当たり平均日数	申請に係る学部等以 外の組織（他の大学 等に置かれる学部等 を含む）での基幹教 員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
1	基(主専)	教授 (学科 長)	ツジ ヒロミ 辻 弘美 <令和7年4月>		博士 (人間発 達心理 学) (英 国)		知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Human) 人間科学実践演習II 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理研究法演習(面接・観察) 心理学概論 ※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 2前 3前 3後 4前 4後 4通 1後 2前 1前	0.4 0.3 1 1 1 1 1 1 4 2 0.4	1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成17年4月)	○				5日	
2	基(主専)	教授	サクタ サトウ ニウ 佐久田(佐藤) 祐子 <令和7年4月>		博士 (工学)		心の健康 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Human) 人間科学実践演習I 人間科学実践演習II 人間科学キャリア実践演習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 心理学実験 心理調査基礎実習 心理学概論 ※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1前 1後 1前 2前 3前 3後 4前 4後 4通 1後 2後 1前	4 0.1 0.3 1 1 1 1 1 1 6 4 2 0.7	2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成13年4月)	○				5日	
3	基(主専)	教授	シラカワテツロウ 白川 哲郎 <令和7年4月>		博士 (文学)		樟蔭の窓 ※ 歴史の読み方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 東大阪学	○ ○ ○ ○	1前 1・2・3・4前・後 1前 1後 1後	0.7 4 0.3 0.1 2	1 2 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成11年4月)	○				5日	
①	基(主専)	教授	モン マサヒロ 門 正博 <令和7年4月>		Docteur de Troisiem e Cycle es sciences (仏国)		宇宙へ広がる私たちの世界 生命の成り立ち 知への扉 ※ 知の技法 ※ 基礎統計学 科学的方法の理解	○ ○ ○ ○ ○	1・2・3・4後 1・2・3・4前・後 1前 1後 2前 1後	2 4 0.3 0.3 2 1.1	1 2 1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 教授 (平成6年4月)	○				5日	
②	基(主専)	教授	ナカガワアキヨ 中川 明子 <令和7年4月>		理学士		数学でわかるAIのエッセンス 数学とは何か 知への扉 ※ データ解析の基礎 科学的方法の理解	○ ○ ○ ○	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1前 2後 1後	4 4 0.1 2 0.3	2 2 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (令和6年4月)	○				5日	
6	基(主専)	准教授	クシバ モモヨ 久島 桃代 <令和7年4月>		博士 (社会科 学)		地球と社会の歩き方 知への扉 ※ 知の技法 ※ 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習I 地域課題実践演習II 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文 世界の中の日本 文化遺産論	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前・後 1前 1後 1後 2後 2後 3後 3前 4前 4後 4通 1前 3後	4 0.3 0.3 1 1 1 1 1 1 2 1 2 2 1	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (令和6年4月)	○			5日		

調査 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	主要授 業科目	配 年	担 当 単 位 数	年 開 講 回 数	現 職 (就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務 に 従 事 す る 週 当 たり 平 均 日 数	申請に係る学部等以 外の組織(他の大学 等に置かれる学部等 を含む)での基幹教 員としての勤務状況
			教授会										教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称			
7	基(主専)	准教授	ナカモトゴウジ 中本 剛二 <令和7年4月>		博士 (文学)		多様性社会を生きるとは 実践演習基礎 (Society) 地域課題実践演習 I 地域課題実践演習 II 地域課題調査実習 卒業研究A 卒業研究B 卒業論文	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前・後 1後 2後 3後 3前 4前 4後 4通	4 2 2 2 2 2 2 6	2 1 1 1 1 1 1 1	大阪大学大学院 医学系研究科保健 学専攻生命育成看 護科学講座 特任講師 (令和4年4月)	○				5日	
8	その他	教授	オクダ アキラ 奥田 亮 <令和7年4月>		修士※ (教育学)		樟蔭の窓 ※ うつくしいという体験を考える 自己の探求 ※		1前 2・3・4後 1・2・3・4後	0.7 2 1	1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成11年4月)	○					
9	その他	教授	タカハシユウコ 高橋 裕子 <令和7年4月>		修士※ (文学)		女性のライフサイクル		1・2・3・4前	2	1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成13年4月)	○					
10	その他	教授	カワノ サエヨ 川野 佐江子 <令和7年10月>		博士 (比較文 明学)		ジェンダーを考える 現代に生きる女性たち ※ 表現するからだ、考えるからだ		1・2・3・4後 1・2・3・4後 2・3・4前	2 1 2	1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成22年4月)	○					
11	その他	教授	ヨモリ ミチヒロ 小森 道彦 <令和7年4月>		文学修 士※		笑いは人をつなぐ 感性の技法 旅行の英語 留学の英語 接客英会話 フランス語 I フランス語 II 和の伝統芸道 知への扉 ※	○	2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1前	2 2 2 2 2 2 2 1 0.3	1 1 2 2 2 2 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成4年4月)	○					
③	その他	教授 (学部 長)	カワカミマサヒロ 川上 正浩 <令和7年4月>		博士 (心理 学)		笑いは人をつなぐ 感性の技法 心のしくみ 知への扉 ※ 知の技法 ※ 人間科学実践演習 I 心理学研究法 知的生産とクリティカル・シンキング 科学的方法の理解	○ ○ ○ ○ ○	2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4前・後 1前 1後 2前 1前 2後 1後	2 2 4 0.1 0.4 2 2 2 0.1	1 1 2 1 1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成13年4月)	○					
13	その他	教授	カネシゲノボル 兼重 昇 <令和7年4月>		修士※ (教育 学)		Basic English 2y Basic English 2g ドイツ語 I ドイツ語 II		1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1 3 2	1 1 3 2	大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 教授 (平成31年4月)	○					
14	その他	教授	エンドウテラオ 遠藤 晃男 <令和7年4月>		博士 (工学)		情報と社会 情報処理基礎A 情報処理基礎B 暮らしとAI・データサイエンス AI・データサイエンス (データと社会) AI・データサイエンス (データ分析) 科学的思考実験 ソーシャルデザイン プログラミング演習 I プログラミング演習 II A プログラミング演習 II B サイバーセキュリティ	○	1前 1前 1後 2・3・4前・後 2・3・4前 2・3・4後 3後 2後 1後 2前 2後 3後	2 1 1 4 2 2 1 2 2 1 1 1 2	1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成30年4月)	○					

調書 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	主要授 業科目	配 年	担 当 単 位 数	年 開 講 回 数	現 職 (就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務 に従事する 週当たり平均日数	申請に係る学部等以 外の組織(他の大学 等に置かれる学部等 を含む)での基幹教 員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
15	その他	教授	スズキ トモコ 鈴木 朋子 <令和7年10月>		博士 (人間科 学)		健康の科学		1・2・3・4後	2	1	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 教授 (平成22年4月)	○					
16	その他	教授	サカタ ヒロユキ 坂田 浩之 <令和7年10月>		修士※ (教育 学)		自己の探求 ※		1・2・3・4後	1	1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成13年4月)	○					
17	その他	教授	オチ サオリ 越智 砂織 <令和7年4月>		博士 (法学)		日本国憲法 日常生活と法 現代社会と生活者の視点		1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	4 4 2	2 2 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成21年4月)	○					
18	その他	教授	キタムラバタ ミズホ 北村(田端) 瑞穂 <令和7年10月>		博士 (教育 学)		子育てを考える		1・2・3・4後	2	1	大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 教授 (平成29年4月)	○					
④	その他	教授	ナガノ ミツロウ 永野 光朗 <令和7年4月>		文学修 士※		心理学概論 ※ 心理調査基礎実習	○ ○	1前 2後	0.3 2	1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (令和6年4月)	○					
20	その他	教授	ヤマサキテロオ 山崎 晃男 <令和7年4月>		博士 (人間科 学)		心理学概論 ※	○	1前	0.7	1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成13年4月)	○					
21	その他	教授	タカハシサトル 高橋 悟 <令和9年4月>		博士 (教育 学)		国際関係論		3前	2	1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成30年4月)	○					
22	その他	教授	タケムラカズオ 竹村 一夫 <令和7年4月>		文学修 士※		量的データ解析実習		3前	1	1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成12年4月)	○					
⑤	その他	教授	タカタ サダキ 高田 定樹 <令和7年10月>		博士 (学術)		科学的方法の理解	○	1後	0.3	1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (平成25年4月)	○					
⑥	その他	教授	イチジョウトモアキ 一條 知昭 <令和7年10月>		博士 (薬学)		科学的方法の理解	○	1後	0.1	1	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 教授 (平成31年4月)	○					
23	その他	准教授	マツモトノ サトミ 松本(佐野) 理美 <令和7年4月>		博士 (文学)		新聞で学ぶ日本語A 生活の中の日本語B		1・2・3・4前 2・3・4後	1 1	1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (令和5年4月)	○					

調査 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	主要授 業科目	配 年	担 単 位	当 数	年 開 講	間 数	現 職 (就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務 に従事する 週当たり平均日数	申請に係る学部等以 外の組織(他の大学 等に置かれる学部等 を含む)での基幹教 員としての勤務状況		
															教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称				
24	その他	准教授	スギウラタカシ 杉浦 隆 <令和7年4月>		修士※ (文学)		言語とコミュニケーション Basic English bk Basic English w Basic English 1r Basic English 1o ニュースの英語		2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4前	2 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1			大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (平成7年4月)	○							
25	その他	准教授	ハマダ シンゴ 濱田 信吾 <令和7年4月>		人類学 博士 (米 国)		海外外国語演習A 海外外国語演習B 海外外国語演習C 異文化演習		1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4	2 2 2 1	1 1 1 1			大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (平成27年4月)	○							
26	その他	准教授	タニ アスカ 谷 明日香 <令和7年10月>		博士 (学術)		化学で考える暮らし		1・2・3・4後	2		1			大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (令和5年4月)	○						
27	その他	准教授	サハシ ユミ 佐橋 由美 <令和7年4月>		体育学 修士 教育学 修士※		運動と健康A 運動と健康B		1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	1 1			大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 准教授 (平成2年4月)	○							
28	その他	准教授	タカマツナオキ 高松 直紀 <令和7年10月>		修士 (人間科 学)		キャリア設計 キャリア開発 キャリア研究 キャリア実習A キャリア実習B キャリア実習C		1後・2前 2前 3前 2通 3通 4通	2 1 1 2 2 2	2 1 1 1 1 1			大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (平成25年4月)	○							
29	その他	准教授	トヨシマクミヨ 豊島 久美子 <令和7年4月>		博士 (人間科 学)		知への扉 ※ 社会とコミュニケーション	○ ○	1前 1前	0.1 1		1 1			大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 准教授 (平成27年4月)	○						
30	その他	准教授	オ 知恩 奥 知恩 <令和7年10月>		人類学 修士※ (韓国)		知の技法 ※ 家族関係論 社会調査概説	○ ○	1後 2後 1後	0.3 2 2	1 1 1			大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (平成13年4月)	○							
31	その他	准教授	ノマ ツネミ マリコ 野間(常規) 万里子 <令和9年4月>		博士 (農学)		消費者行動論		3前		2	1			大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 (令和4年4月)	○						
32	その他	講師	ナカムラタマミ 中村 圭美 <令和7年10月>		修士※ (行政 学)		現代に生きる女性たち ※		1・2・3・4後	1		1			神戸ファッション 美術館 学芸員 (令和6年3月まで)							
33	その他	講師	ヒラノ リエコ 平野 莉江子 <令和7年4月>		修士 (言語教 育情報 学)		新聞で学ぶ日本語A		1・2・3・4前	1		1			関西学院大学 非常勤講師 (令和2年4月)							

調査 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	主要授 業科目	配 年	当 次	担 単 位 数	年 開 講 回 数	現 職 (就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務 に従事する 週当たり平均日数	申請に係る学部等以 外の組織(他の大学 等に置かれる学部等 を含む)での基幹教 員としての勤務状況		
														教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称				
34	その他	講師	ヒグチ タカコ 樋口 尊子 <令和7年10月>		修士 (言語教 育情報 学)		新聞で学ぶ日本語B		1・2・3・4後	1		1	韓国 江陵原州大 学校 客員教授 (平成22年2月まで)								
35	その他	講師	マツモトリョウ 松本 亮 <令和7年10月>		修士※ (言語 学)		論理トレーニング		1・2・3・4後	1		1	関西国際大学 現代社会学部 准教授 (令和3年3月まで)								
36	その他	講師	アイエド ハセイン Ayed Hasian <令和7年4月>		M. A. in Asian Languag es and Civiliz ations: japanes e (米国)		Communicative English 1r Communicative English 1o Communicative English 2y Communicative English 2g		1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1 1 1		1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 講師 (平成30年4月)	○							
37	その他	講師	ジェニファーローズミス Jennifer Rose Smith <令和7年4月>		M. A. in Teachin g English as a Second Languag e (米国)		Communicative English 3b Communicative English 3v Conversation and Fluency A Conversation and Fluency B		1・2・3・4前 1・2・3・4後 3・4前・後 3・4後	2 2 2 1		2 2 2 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 講師 (平成26年4月)	○							
38	その他	講師	ヨシモトヤスコ 吉本 康子 <令和8年4月>		博士 (人間科 学)		アジアの言語・文化を知る		2・3・4前	1		1	立命館大学 非常勤講師 (令和5年4月)								
39	その他	講師	テイ ヤユン 鄭 雅云 <令和7年4月>		修士※ (文学)		中国語 I 中国語II 中国語III 中国語IV		1・2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後	4 3 1 1		4 3 1 1	京都大学文学研究 科 教務補佐員 (令和元年11月)								
40	その他	講師	ナカジマジュンコ 仲島 淳子 <令和7年4月>		修士 (外国 語教育 学)		韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II 韓国・朝鮮語 III 韓国・朝鮮語 IV		1・2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4前 2・3・4後	5 4 1 1		5 4 1 1	近畿大学 非常勤講師 (H30年4月) 桃山学院大学 非常勤講師 (H30年4月)								
41	その他	講師	ユウダ オオシオ ミサ 幸田(大塩) 美沙 <令和7年4月>		修士※ (言語文 化学)		Basic English 3b Basic English 3v 資格の英語A 資格の英語B スペイン語 I スペイン語 II		1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2 1 1 1 1		2 2 1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 講師 (平成31年4月)	○							
42	その他	講師	ウエダ ユカリ 上田 由香理 <令和7年4月>		博士 (学術)		ライフステージと栄養		1・2・3・4前・後	2		1	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 講師 (平成30年4月)	○							

調査 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	主要授 業科目	配 年	担 単 位 数	年 開 講 回 数	現 職 (就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務 に従事する 週当たり平均日数	申請に係る学部等以 外の組織(他の大学 等に置かれる学部等 を含む)での基幹教 員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
43	その他	講師	アオ クリタ ミソラ 青(栗田) 未空 <令和7年4月>		博士 (学術)		ライフステージと栄養		1・2・3・4前・後	2	1	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 講師 (令和2年4月)	○					
44	その他	講師	ヤマシロ トシノブ 山城 稔暢 <令和8年10月>		博士 (理学)		美しい地球を創る		2・3・4前・後	2	1	大谷大学 文学部 非常勤講師 (平成13年4月)						
45	その他	講師	ウメハラ コウジ 梅原 安司 <令和7年4月>		博士 (比較 文学)		私たちはどう生きるか		1・2・3・4前・後	4	2	近畿大学 文芸学部 准教授 (平成28年4月)						
46	その他	講師	ナカ シュウコ 中 周子 <令和7年4月>		博士 (言語 文化 学)		文学の読み方		1・2・3・4前・後	4	2	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (令和3年3月まで)						
47	その他	講師	イソ タダユキ 磯 忠幸 <令和7年10月>		社会学 修士※ (文学)		宗教と現代		1・2・3・4後	2	1	関西大学文学部 非常勤講師 (平成11年4月) 近畿大学文学部・ 国際学部 非常勤講師 (平成12年4月)						
48	その他	講師	コイデ ナトコ 小出 治都子 <令和7年4月>		博士 (学術)		ポップカルチャー論		1・2・3・4前・後	4	2	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 講師 (平成29年4月)	○					
49	その他	講師	カンダ エミ 神田 恵未 タリン トヤ (塔林 凶雅) <令和7年4月>		修士※ (商学)		家計・消費と経済		1・2・3・4前・後	4	2	愛知学院大学 商学部 准教授 (令和6年4月)						
50	その他	講師	ハギハラマサヤ 萩原 雅也 <令和7年4月>		博士 (創造都 市)		地域課題とボランティア活動		1・2・3・4前・後	4	2	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 教授 (令和6年3月まで)						
51	その他	講師	ナカオ シュウイチ 中尾 秀一 <令和8年4月>		修士※ (国際 学)		国際社会と平和		2・3・4休	2	1	公益財団法人アジ ア福祉教育財団難 民事業本部関西支 部支部長 (平成8年7月)						
52	その他	講師	スギモトアツオ 杉本 厚夫 <令和8年10月>		博士 (学術)		レクリエーションと健康		2・3・4後	2	1	一般社団法人子ど も未来・スポーツ 社会文化研究所代 表理事 (令和2年5月)						
53	その他	講師	オノ ユリカ 小野 由莉花 <令和7年10月>		修士 (心理 学)		心理学実験	○	1後	4	2	京都橋大学 総合心理学部 助教 (令和5年4月)						

調査番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	主要授業科目	配年	担当単位数	年間開講回数	現職(就任年月)	教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	申請に係る学部等以外の組織(他の大学等に置かれる学部等を含む)での基幹教員としての勤務状況
													教授会	教務委員会	その他	「その他」の場合、会議等の名称		
54	その他	講師	スズキ ナオト 鈴木 直人 <令和7年10月>		心理学 修士		心理学実験	○	1後	4	2	同志社大学 名誉教授 (平成30年4月)						
55	その他	講師	カサイ ケンジ 笠井 賢治 <令和8年4月>		文学学 士		文化政策学	○	2前	2	1	伊賀市教育委員会 事務局文化財課長 (平成30年4月)						
56	その他	講師	ハギワライ ヱッペイ 萩原 一平 <令和9年4月>		Master of Science in Enginee ring (米国)		脳科学とその応用		3前	2	1	一般社団法人応用脳科学 コンソーシアム理事・ 事務局長(令和2年) 株式会社NTTデータ経営 研究所フェロー(平成9 年) 横浜国立大学大学院環 境情報学府客員教授 (平成16年) 大阪大学招聘教授(平 成29年)						
57	その他	講師	タケムラカズヒサ 竹村 和久 <令和8年4月>		博士 (学術)		行動経済学		2前	2	1	早稲田大学 文学学術院 教授 (平成14年4月)						
58	その他	講師	アリクニアキヒロ 有國 明弘 <令和8年4月>		修士 (文学)		社会調査の方法		2前	2	1	大阪公立大学大学院 文学研究科都市 文化研究センター (UCRC) 研究員 (・大学等非常勤 講師) (令和6年4月)						
⑦	その他	講師	ジツモトマサキ 實本 正樹 <令和7年4月>		修士 (学術)		物理で考える暮らし 美しい地球を創る		1・2・3・4前 2・3・4前・後	2 2	1 1	京都府立朱雀高等 学校通信制 教諭(再任用) (令和4年4月)						
⑧	その他	講師	モリ マサノリ 森 正憲 <令和7年10月>		修士 (工学)		科学的方法の理解	○	1後	0.1	1	学校法人樟蔭学園 専任職員 (令和6年6月)						
59	その他	助教	トミタ カナザワ アイカ 富田(金澤) 愛佳 <令和7年4月>		修士※ (文学)		アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB 生活の中の日本語A 生活の中の日本語B		1前 1後 2・3・4前 2・3・4後	1 1 1 1	1 1 1 1	大阪樟蔭女子大学 学芸学部 助教 (平成29年4月)	○					

基幹教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	1人	1人	1人	1人	4人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	1人	2人	1人	1人	1人	6人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、基幹教員についてのみ作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
- 4 「基幹教員の年齢構成・学位保有状況」欄の「基幹教員」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合、「専任教員」と読み替えること。
- 5 専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。